

教育基本計画へのパブリックコメントと町の考え方

意見 1 上富良野町教育目標実現に向けて、特色ある学校づくりを推進してほしい。

回答 1

それぞれの市町村が、子どもたちの個性を伸ばし健全な育成を願い学校教育を推進しているところであり、本町においても同じく各学校に努力を促し、日々の教育活動の充実に努めてまいりたいと考えております。

特色という言葉は、ともすれば新聞やテレビのニュースに載るようなことと考えがちですが、ねらいは子どもたちの健全育成であります。日の目をみない小さな特色でも子どもの育成に効果があれば十分な取り組みとすることができます。

その特色の一例として、本町ではどの学校においても様々な形で保護者や地域の方々から快く協力をいただいている状況が多く、多くの場面で見られ成果をあげています。住民会による「登下校時の安全を守るパトロール」、放課後の子どもの居場所づくりとしての「放課後子どもプラン事業」その他、学校と社会の融合と活用をもとにした子どもの健全育成を支援する取り組みが展開されています。

また、上富良野小学校のスクールバンド、上富良野中学校の吹奏楽・野球・陸上、東中中学校の軟式テニスなど全道大会・全国大会へとめざましい活躍を示しています。児童生徒はもとより、保護者の協力と学校・教師の努力の結果であり、本町のような規模の市町村では希有な成果といえます。これも我が町の教育の一つの特色と考えております。西小学校では、三重県津市との交流学習や生活科と総合的な学習の時間を活用して表現力や発表力を高める取り組みに成果をあげており、江幌小学校では地域の協力と素材を生かした農作業などの勤労体験学習や、植物や鳥などを調べたりしての環境教育にも力を入れています。東中小・東中中・学校では、清流太鼓や清流獅子舞いの伝統芸能を地域の力を基に脈々と続け、発表力と自信と郷土愛を確実に育てています。これらも日々の地道な小さな努力の積重ねによる特色といえると考えています。

しかし、これで十分と考えているわけではありません。課題はまだ各所に存在しています。今回の教育振興基本計画を基盤として、それらへの解決と各学校の地道な特色づくりをさらに推進させ、子どもたちの健全育成と資質の向上をめざす考えです。

意見 2 上富良野町独自の学力増進策を検討してはどうか。

回答 2

上富っ子の学力は、平均的にみると高いほうであることが諸調査等を通じて確認しているところです。しかし、これに満足する事なくさらなる向上をめざすため、各学校には外部の意見も取り入れた「学校評価」の実施とそれにもとにした「学校改善プラン」を作成することなどに取り組んでいるところです。

学力を向上させるためには「授業づくり」はもとより、生活・学習に興味関心をもたせ、落ち着いて集中して取り組める「環境」づくりも大切な要素となっています。各学校のプランとその実行努力を促すとともに、学校側からの改善に向けての要望事項などを吸収して新たな増進策をたてていかなければならないと考えているところです。

意見 3 給食では食事のマナーに指導徹底を図ってください。（感謝と大切さ）

回答 3

毎日のあたりまえとなっている食事もよく考えると、人が生きる上での最も重要な営みといえます。日常くり返す営みにこそ、教育的重要な要素が含まれていると考えられます。そのところから文部科学省や北海道教育委員会では、基本的な生活習慣の確立と食育を重視し『早寝・早起き・朝ご飯』の運動を呼びかけています。

マナーも含めた食育は、今回の教育目標の2の「豊かな心と健やかな体...」の中にもその意図を含めており、心との関わりでは道徳性の一つとしてとらえています。このことから、教育目標等をもとに学校の具体的な方策の概要である「学校教育推進目標」の3にも「食育の推進」を取り上げ、各学校が指導要素の一つとして取り組みを進めるよう指示していくところです。

また、学校独自の指導のほか、本町の「学校給食センター」では、定期的に各学校において、管理栄養士による栄養指導を実施しています。その中で「食事のマナー」の指導も併せて行わせていただいております。